

2021年4月1日  
西日本旅客鉄道株式会社

## EB装置が機能しない状態で走行した件について（JR神戸線）

2021年3月31日、立花～甲子園口駅間を走行中、EB装置の表示灯に違和感を感じたため停車しました。調査を行ったところ、米原駅から当該車両のEB装置が作動しなかった可能性があることが判明しました。ご利用のお客様には大変ご迷惑おかけし、申し訳ございませんでした。

### 1. 発生日時

3月31日（水） 9時26分頃

### 2. 場 所

JR神戸線（東海道本線） 立花 ～ 甲子園口 駅間

### 3. 列車名

下り新快速電車 長 浜（7：28）発 姫 路（10：17）行  
12両編成 お客様：約500名

### 4. 概 況

3月31日（水）9時26分頃、立花～甲子園口駅間走行中、EB装置の表示灯に違和感を感じたため停車し、大阪総合指令所に連絡しました。その後、大阪駅から添乗指導していた同乗者を運転士の保安要員として9時32分に運転再開しました。3月31日から4月1日にかけて詳細に調査を行ったところ、米原駅から当該車両のEB装置が作動しなかった可能性があることが判明しました。

※「EB装置（緊急列車停止装置）」とは、保安装置のひとつで、運転士が運転機器操作を60秒間行わなかった場合にブザーが鳴動し、さらに5秒間何もしなければ自動的に非常ブレーキが作動します。

### 5. 原 因

EB装置を動作させる指令を出力する機器の一時的な動作不良のためです。

### 6. 対 策

当該機器の取替えを実施します。